

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

水質科

平成12年4月17日 第3報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	73		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion conicum</i>	10		
(黄鞭) <i>Chromulina sp.</i>	10		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	30		
(黄鞭) <i>Mallomonas sp.</i>	10		
(珪) <i>Melosira varians</i>	20		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	20		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	270		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	290		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	50		
(珪) <i>Synedra rumpens</i>	10		
(珪) <i>Cocconeis placentula var. leneata</i>	20		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	20		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	20		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	120		
(み) <i>Trachelomonas oblonga</i>	10		
(緑) <i>Monoraphidium griffithii</i>	10		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum var. ornatum</i>	1		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	133	13.2	35.4
(珪) 珪藻綱	710	70.7	54.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	20	2.0	0.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	120	12.0	3.1
(み) みどり虫藻綱	10	1.0	0.2
(緑) 緑藻綱	11	1.1	6.1
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	1004	総体積	6.57E+05
種類数	19	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)

ただし*印の種は群体数(群体 / ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種

数字は各綱ごとの占有率(単位: %)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

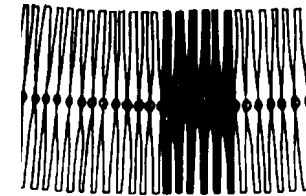
動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体 / l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	580

第 2 優 占 種	個体数 (個体 / l)
繊毛虫類 <i>Tintinnidium fluviatile</i>	120

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

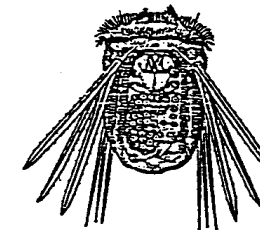
植物プランクトン第1優占種



Fragilaria crotonensis
(オビケイソウ)
珪藻綱

多数の細胞が中央殻面で互いに接しあって、帯状の群体を形成して浮遊する。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント:

これまで多かったキクロテラ グロメラータが減少し、ディノブリオン ババリクムの増加が見られた。これは珪藻が減少し黄色鞭毛藻の種が多くなる傾向を示している。